イノベーションと多様性

サステナブル・ラボラトリー・メディスンを目指す!!

日臨技
中部圏支部医学検査学会
ISHIKAWA 61st

令和５年度
日臨技中部圏支部医学検査学会（第61回）in 金沢

2023年（令和５年）

会期 12月2日(土)▸3日(日)

会場 石川県立音楽堂
ホテル金沢
（後日オンデマンド配信）

ホームページ https://ishikawa-amt.jp/chubu61/

演題募集要項

主催 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部

担当 一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会

令和５年度　日臨技中部圏支部医学検査学会（第６１回）

イノベーションと多様性

「サステナブル・ラボラトリー・メディスンを目指す!!」

令和５年１２月２日（土）３日（日）

石川県立音楽堂　ホテル金沢（石川県金沢市）

ー後日オンデマンド配信ー

学　会　長	長原　三輝雄	（北陸大学）
実行委員長	大江　宏康	（金沢大学附属病院）
事 務 局 長	滝野　豊	（北陸大学）
会計責任者	廣瀬　杏子	（浅ノ川総合病院）

令和５年度　日臨技中部圏支部医学検査学会（第６１回）　事務局
滝野　豊　（北陸大学）
〒 920-0941　金沢市旭町 1-17-2　山根荘３号
TEL（076）210-3885　　FAX（076）213-5112
E-mail：chubu61@ishikawa-amt.jp

学会ホームページ：https://ishikawa-amt.jp/chubu61/

主催：一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会中部圏支部
担当：一般社団法人　石川県臨床衛生検査技師会

※　新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、募集内容や開催内容が大きく変更となる場合がありますので、ご了承ください。

会長挨拶

一般社団法人　石川県臨床衛生検査技師会
会長　　長原　三輝雄

令和５年度日本臨床衛生検査技師会中部圏支部医学検査学会（第６１回）を開催するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

本学会はメインテーマを「イノベーションと多様性」 サステナブル・ラボラトリー・メディスンを目指す!! と題し、中部地区６県(富山、石川、岐阜、三重、愛知、静岡)を中心とした臨床検査技師が参加して行われます。

内閣府がとなえる次世代の科学基本計画「Society 5.0」は、日本がめざすべき未来社会の姿として掲げている社会構想です。その技術プラットフォームは、AI（Artificial Intelligence）や IoT（Internet of Things）などの革新技術によって実現する「超スマート社会」あるいは「データ駆動型社会」です。すでに日本医師会では、Society5.0における未来ビジョンを掲げています。

本学会のメインテーマは、今、求められる臨床検査技師とラボラトリーのあり方を表しています。社会が大きく変革していく中で、私たちの立場も変化していく。その変革をしっかり捉え、それに応える臨床検査技師が必要です。日々の業務を遂行し管理するだけでは、検査室は持続できません。そこには、新たな技術への研究、教育、指導を持続する仕組みがなければなりません。一人ひとりが、変革の中で成長し、新しい臨床検査の世界を実現する。本学会が、私たちが目指すべき未来の姿を思い描くことのできる学会になることを祈念しております。

最後に、会員の皆様には多くの一般演題の登録をお待ちしております。十分な感染対策を実施しながら記念すべき第６１回学会の開催を目指します。会員の皆様、賛助会員の皆様、学生の皆様には多くの参加を心からお待ちしています。

学会企画

1．文化講演　　令和５年１２月２日（土）
北陸製菓株式会社　社長
髙﨑 憲親　先生

2．教育講演　　令和５年１２月３日（日）
旭川医科大学病院　診療技術部
友田 豊　先生

学会企画　日程概要

	12月２日（土）	12月３日（日）
3.学会式典	○	
4.シンポジウム	○	
5.日臨技企画	○	
6.部門別企画	○	○
7.一般演題	○	○
8．ランチョンセミナー	○	○
9．モーニングセミナー		○
10．機器試薬展示	○	○
11．学会懇親会	○	

※内容は大きく変更することがございます

支部シンポジウム

テーマ

今、求められる臨床検査技師と検査室

ねらい

本学会のメインテーマ「イノベーションと多様性」は、今、求められる臨床検査技師とラボラトリーのあり方を表しています。社会が大きく変革していく中で、私たちの立場も多種多様に変化していきます。その変革をしっかり捉え、それに応える臨床検査技師が求められます。

日々の業務を遂行し管理するだけでは、検査室は持続できません。そこには、臨床検査・検査技師にもとめられる新たな技術や運用への研究、教育、指導を持続し続ける仕組みがなければなりません。一人ひとりが、変革の中で成長し、新しい臨床検査の世界を実現する。本学会が、私たちが目指すべき未来の姿を思い描く一助となることを祈念しているところです。

そこで、今回のシンポジウムでは、職場の将来を見据えた「新たな技術への取り組み」「技師教育への取り組み」「検査室構築への取り組み」について、検査室のリーダー、中堅、若手の生の声を聞き、自分達の検査室そして自分自身の“次の”行動指針に結び付けたいと思います。

令和石臨技塾企画

テーマ

見る人に刺さる！魅力的なスライドと伝わるプレゼン講座

ねらい

あなたの発表は果たして相手に伝わっているでしょうか。手応えを感じる学会発表ができていますか。通常業務をこなしながら、時間を見つけてプレゼンスライドを準備し、発表の読み合わせも完璧！準備万端いざ発表！！うーん、会場の反応がいまいち…という経験はありませんか。このセッションでは、プレゼンテーションの一般的な考え方とスライドのデザイン面での工夫を、実演を交えて講師の先生にご指南いただきます。

あなたのお悩みが解決する糸口がきっと見つかるはずです。一緒にプレゼン方法を学びましょう！

講師：岡田　悟　先生
（医師：東京北医療センター総合診療科/東京北医療センタープレゼン部）

令和石臨技塾について

石川県臨床衛生検査技師会に所属する若手～中堅の臨床検査技師を中心とした、部門別研究班にはない学びの機会の創出を目指し、今までになかった、あったらいいなと思える幅広いテーマの研修会を企画しています。
若手主導で専門分野や所属を超えて、会員同士が知り合い、交流することで、職場外での仲間づくりや情報交換の機会を作ることを目的として活動しています。

部門別企画

【臨床検査総合部門】

シンポジウム

「タスク・シフト／シェアの第一歩」

ねらい

2021 年より開催されている厚生労働大臣指定講習会の受講者数は着実に増えてきており、タスク・シフト／シェアに向けた機運は高まってきている。その一方で、「何をすればいいか分からない」との声もいまだに少なくない。

本企画では第 60 回に引き続き「タスク・シフト／シェア」を取り上げ、今回の法改正業務だけでなく、法改正以外の業務についても各施設でどのように提案し取り組み始めたかについて、その事例を報告いただきディスカッションしたい。

これからタスク・シフト／シェアへの取り組みを考えている施設の第一歩への道標だけでなく、すでにタスク・シフト／シェアを実践している施設における更なる一歩への一助となれば幸いである。

【臨床微生物部門】

シンポジウム

Diagnostic Stewardship の取り組み
～よい検査結果を臨床につなげるために～

ねらい

Diagnostic Stewardship（診断支援） は Antimicrobial Stewardship（抗菌薬適正使用）と合わせて実践すべき取り組みである。

正しい検査結果を導くためには適切なタイミングで採取された質の良い検体での検査が必要であり医師や看護師などの協力も必要、また検査結果は正確に適切なタイミングで報告され医師に伝えられ治療につなげることが重要である。

施設規模別、細菌検査室がない施設での取り組みや工夫などを提示していただき、その後ディスカッションをおこない今後自施設での取り組みにつなげられる企画にしたい。

【輸血・細胞治療部門】

シンポジウム

「症例から検査の進め方、臨床への報告をみんなで学ぼう」

ねらい

輸血検査で予期せぬ反応に遭遇した場合、対応方法はこれで良いのかな？と、時々感じることがあるだろう。同じ病院ではなかなか相談できないこともあるが、輸血検査を担当している様々な病院の技師でディスカッションも交えながら、症例への対応や報告方法を考えていく。

※参加型セッションのため、事前登録が必要です。
登録方法の詳細は、プログラム集（秋ごろ送付予定）に掲載予定です。

【臨床一般部門】

シンポジウム

これからの寄生虫検査について考える
「病院と検査センターの寄生虫検査の昔と今」

ねらい

中部圏支部で実施した寄生虫検査アンケートより、寄生虫検査の依頼が少ないため、検査センターへ委託している施設が多く見受けられた。一方、寄生虫検査を自施設で実施している施設もあるが、糞便検査を網羅的に実施している施設は全体の 20%程度と低い結果となっている。この結果より、寄生虫の糞便検査が正確に実施されていない可能性が考えられた。その背景には、依頼数が少ないという要因が考えられるが、寄生虫検査をどこまで実施しなければならないのかという決まりがないこともその一因である。だからこそ、あやふやな技術は標準化が必須ではないかと考える。本シンポジウムでは、我々が検査を委託している検査センターや自施設で検査を実施している施設の技師から、20 年前と現在の検査の移り変わりや寄生虫検査の必要性、内部精度管理や技師教育など、さまざまな困りごとについて意見交換し、これからの寄生虫検査について討論する。

【臨床血液部門】

シンポジウム

これからの血液検査技師の果たす役割
～　臨床に求められる血液検査技師を目指して　～

ねらい

今日では、依頼された検査業務だけをするのではなく、血液検査データの情報から追加検査の必要性の有無を確認し、他部門と連携して得られる結果を総合的に考える力量も必要です。また、検査データをより良く活用するためのシステム構築など、検査データに付加価値を付け臨床側に役立つ結果を報告できる事が、血液検査技師の役割であると考えます。

また、教育関連においても、個人の力量の評価、学識レベルの維持へ、どのように取り組くんでいくかも重要な課題です。

本企画では、検査データに付加価値を付ける取り組みとして、血液部門以外の部門との連携を重視した事例報告と、血液検査技師育成の取り組みについて報告していただきます。

今回の部門企画を通し、今後の血液検査技師の役割について、皆様方と一緒に考える機会にしたいと思います。

【生物化学分析部門】

シンポジウム

検査室のブラッシュアップ！
正確な検査結果を報告するためにどんな工夫していますか？

ねらい

自施設だけ？と思っていませんか？みんな同じことで悩んでいるかもです。困っていることを共有する。みんなで解決する。それを患者さんに還元する。このサイクルを回して検査室のブラッシュアップを図りましょう。

【臨床生理部門】

シンポジウム

生理機能検査領域における検討ことはじめ
～初学者を対象とした症例報告から研究まで～

ねらい

これまで臨床検査技師は「Clinical Laboratory Technician」と英訳され、その名の通り技術的なスキルを重要視されてきた。一方、世界医学検査学会(International Federation of Biomedical Laboratory Scientist, IFBLS)では、臨床検査技師を「Biomedical Laboratory Scientist」と呼称することを推奨していることからも、研究者としての側面が求められはじめていると推察される。しかしながら、「研究」というと、ハードルが高く、検査技師が抵抗を感じていることが、多くの学会で行われる一般演題不足のアナウンスからも見て取れる。

本講演では、中部圏における市中病院や大学病院で様々な検討を行っている技師から、自身の経験をもとに症例報告、研究の取り組み方をご紹介いただく。テーマ設定、データ収集・解析、学会発表に向けた抄録・スライド作成、可能であれば論文作成のノウハウまで、生理機能検査領域を中心としながらも臨床検査全般に適用できる内容の紹介を目指します。本講演が、これから研究をやってみたい、興味はあるがやり方がわからないという初学者が、一歩踏み出すためのきっかけとなれば幸いである。

【病理・細胞部門】

シンポジウム

『サスティナブルな人材育成』
～専門職としての能力の育成を考える～

ねらい

医療技術の高度化や社会の医療ニーズの多様化といった、保健医療を取り巻く状況の変化に対応した人材の育成が求められている。とくに臨地実習は 7 単位から 12 単位に引き上げられ、臨床の現場における実践を通じて、対人関係能力や倫理観を養うとともに、専門職として能力の育成が求められている。さらに経験から学び、理論と実践の統合をはかる新人教育のあり方など、人材育成に重点をおき、卒前で身に付けておくべき資質や能力、新人教育とその後の資格取得やモチベーションの維持につながるサスティナブルな人材育成について意見交換し、考えていきたい。

【染色体・遺伝子部門】

シンポジウム

遺伝子検査　A to Z
～この 90 分から始めるリスキリング～

ねらい

新型コロナ、リキッドバイオプシー、ゲノムプロファイリング…遺伝子検査の用途は広がり続け、今まで関係ないと思っていたあなたのすぐそばまでその足音は迫ってきています。

遺伝子検査に触れたことのない人、必要に迫られてとりあえず遺伝子検査を始めた人、新人教育で教えなければいけない立場になった人。そんな人たちのための企画です。

PCR の基礎から解析、最新事例まで総ざらい。時代はリスキリング。この 90 分から始めましょう。

一般演題募集要項

令和５年度　日臨技中部圏支部医学検査学会（第６１回）へ一般演題を申し込まれる方は、以下の要項を熟読のうえ、演題登録および抄録作成を行って下さい。

日臨技会員専用サイトを利用した演題・抄録の同時登録です。

なお登録の際、口演（スライド発表）か示説（ポスター発表）を選択できますが、プログラム編成の都合上ご希望に添えない場合があります。実行委員会に一任させていただきますのでご了承ください。

Ⅰ. 一般演題申込み資格

1. 一般演題の筆頭発表者は原則として会員に限ります。共同発表者は、原則として会員とし、7 名以内です。
2. 一般演題申込時に共同発表者の会員番号が入力されていない場合は、非会員とみなし、抄録掲載料として 1 名につき 5,000 円を申し受けます（複数の演題を共同発表した場合も 5,000 円とします）。お申込み後に「8. 抄録掲載料・演題申し込み料金送付先」に記載の口座へ送金してください。通信欄に演題受付番号・筆頭者名・筆頭者会員番号および非会員氏名を必ずご記入ください。
3. 非会員の取り扱いについては、振込期日（令和 5 年 7 月 30 日）までに非会員の抄録掲載料の入金が確認できない場合、非会員の共同発表者名を抄録から削除します。
4. 学会オープン化に伴い、次の関連学会・団体の所属会員の方も一般演題の申し込みができます。ただし、演題申し込み料金は、1 演題につき 10,000 円を申し受けます。「8. 抄録掲載料・演題申し込み料金送付先」の口座へ、併せて送金してください。通信欄に演題受付番号・筆頭者名の順にご記入ください。

   関連学会・団体（4 団体）
   - 日本臨床検査医学会　・日本臨床検査薬協会
   - 日本衛生検査所協会　・日本臨床検査学教育協議会

5. 発表内容は臨床検査に関係の深いものに限ります。従来知られていなかった新しい知見、また重要な知見が必ず含まれた内容としてください。

   応募演題採用の可否については、令和 5 年度学会実行委員会に一任させていただきます。なお次に示す内容のものはご遠慮ください。

   1) 他学会に発表した内容および雑誌などで報告されている内容のもの。
   2) キット類および機器・器具の単なる使用経験的な内容のもの。ただし、新しい試験または重要な知見が含まれたものはこの限りではありません。

3)　実験方法が明確でないもの、結論が導かれていないもの、考察が不十分であるものなど不備が認められる内容のもの。

6.　シンポジウム・日臨技企画・部門別研究班企画などの特別企画は一般公募しません。演者の方には別途ご案内いたします。
7.　非会員の方は、「非会員向け演題募集登録受付専用サイト」からのご登録をお願いします。その際、ログインパスワードが必要になります。
8.　非会員抄録掲載料・演題申し込み料金送付先

【振込先】　北國銀行　旭町支店　（店番号：１３６）
普通預金　００３２５６０
レイワゴネンドニチリンギチュウブケンシフ
（令和５年度日臨技中部圏支部医学検査学会）

通信欄に、筆頭者名を記入してください。
令和 5 年 7 月 30 日までに上記口座に入金してください。入金された場合は学会事務局アドレスに、振込人氏名、演題受付番号、発表筆頭者名、振込日をお知らせください。

Ⅱ. 一般演題申込み方法

一般演題は、日臨技ホームページ「会員専用ページ」から会員専用サイトに入り《演題・抄録　登録》から演題を受付けます。
（会員専用ページには、会員番号・パスワードでログインします。）

詳細については、日臨技 HP から会員専用ページにログインし、左下【運用ガイド】内の「全国学会及び日臨技支部学会の一般演題・抄録の登録について」をご覧ください。

- パスワードが不明の方は、会員専用ページからパスワードの発行申請を行ってください。
- やむを得ない理由により、Web 登録が不可能な方は学会事務局までお問い合わせください。

1. 会員専用サイトによる演題申込方法

「日臨技会員の学会一般演題・抄録の登録について」をよく読み、演題申し込みと抄録原稿の入力を行ってください。
入力方法には、①Web 上で抄録本文を入力する方法と、②テンプレートファイルをダウンロードし、ワープロソフト（Microsoft Word）を使って抄録を作成する方法があります。①は従来からの Web 入力方法です。②は特殊文字などを使用することができます。

2.原稿受領等の通知について

「受領メール」は、演題・抄録登録（変更）時に自動送信されます。
受領メールが届かない場合はメールアドレス登録手順を確認してください。
数日経過しても届かない場合は、早めに学会事務局へお問い合わせください。
「演題採否および日時・会場」は、後日電子メールにて通知します。迷惑メールフィルタをご使用の場合は jamtbranch-event@jamt.or.jp からのメールを必ず受信できるようメールソフトを設定してください。
学会ホームページでの告示（発送日）以降、通知がない場合は学会事務局にお問い合わせください。

3.演題申込に関する問い合わせ

【令和 5 年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第 61 回)　事務局】

〒920-0941　金沢市旭町 1-17-2　山根荘 3 号
TEL（076）210-3885　　FAX（076）213-5112
E-mail：chubu61@ishikawa-amt.jp

Ⅲ.一般演題抄録受付期間

受付開始日：令和５年　５月　１日（月）
受付締切日：令和５年　６月３０日（金）

※一般演題申し込み用ホームページは、受付期間終了後閉鎖します。

Ⅳ. 発表分野と分類

1. 希望発表分野は、必ず下記から選択してください。

（発表分野、発表方法は希望に添えない場合があります。）

［希望発表分野］				
01. 微生物	02. 免疫血清	03. 血液	04. 臨床化学	05. 病理
06. 細胞	07. 生理	08. 一般	09. 公衆衛生	10. 輸血
11. 情報システム	12. 遺伝子	13. 管理運営	14. 教育	15. チーム医療
99. その他				

2. 文献検索用キーワードは、大分類、小分類ともに必ず下記から選んで記入してください。

［大分類］			
01. 試薬・機器	02. 迅速検査	03. 基礎研究（検討）	04. 精度管理
05. 統計学	06. 標準化・施設監査	07. システム化	08. 疫学
09. 症例	10. 管理・教育	11. 遺伝子検査	13. チーム医療
99. その他			
［小分類］			
001. 尿定性	002. 尿沈査	003. 尿中微量物質	011. 便潜血
099. その他一般			
101. 内分泌	102. 酵素	103. 蛋白	104. 含窒素化合物
105. 脂質	106. 糖	107. ビタミン	108. 無機質
109. 薬物	199. その他化学		
201. 腫瘍マーカー	202. 補体	203. 免疫グロブリン	204. アレルギー
205. 自己免疫	206. 肝炎ウイルス	207. HIV・ATL	261. 輸血
299. その他血清			
301. 細胞性免疫	302. 血液一般	303. 凝固・線溶	351. 染色体
399. その他血液			
501. 一般細菌	502. 抗酸菌	503. 嫌気性菌	504. 真菌
511. MRSA	521. 薬剤感受性	599. その他微生物	
601. 病理組織検査全般	602. 免疫組織化学	659. その他病理	
661. 細胞検査	669. その他細胞検査		

700．公衆衛生			
801．循環機能	802．心臓超音波	809．その他超音波	
811．呼吸機能	821．脳波	831．筋電図	841．熱画像
851．磁気共鳴画像	861．眼底検査	871．眼振電図	881．重心動揺計
899．心電図・その他生理検査			
901．管理・運営	902．教育		
911．糖尿病療法指導	912．栄養サポートチーム（NST）	913．感染制御チーム（ICT）	914．褥瘡対策チーム
915．臨床検査情報提供	916．治験コーディネーター（CRC）	917．クリニカルパス	918．POCT
999．その他			

Ⅴ. 一般演題・抄録の登録方法

Ⅵ. 口演発表形式

1.発表データの作成・持ち込みについて

スクリーンは1面で、PC（パソコン）による発表のみとなります。
スライドプロジェクタやOHP, VTR／DVDデッキ等の準備はいたしておりません。ご注意ください。

- **発表データの作成については下記の点に注意してください。**
- 会場で使用するPCのOSおよびアプリケーションは次のとおりです。
  使用環境：Windows10,11、PowerPoint2010・2013・2016・2019、
  PowerPoint® for Microsoft 365
  ※Mac OSは使用できませんのでご注意ください。
- 発表データのファイル名は【演題番号】【氏名】 例)【000　石川太郎】としてください。
- 発表データは16：9のワイド画面で作成をしてください。
- 会場で使用する画面の解像度はWUXGA（1,920×1,200）です。これ以外のサイズで作成した場合、正確に表示できませんのでご注意ください。
- 発表データに使用するフォントは、文字化けやレイアウトずれを防ぐため、特殊なフォントは使用せずWindowsに標準搭載されているフォントのご使用をお勧めします。
- PowerPoint上で動画を使用する場合は、標準のWindows Media Player（Ver.10以降）で動作する形式にて作成し、PowerPoint に貼り付けてください（ハイパーリンクなどを使用しますとリンク切れの原因になるため避けてください）。
  なお、動画ファイルは、符号化や特殊な圧縮（コーデック）をしたものは使用しないでください。また、動画の音声を会場で再生する必要のある場合は、PC 受付にてその旨を係員にお伝えください。
  ※動画データは、PowerPoint のデータと共に同一のフォルダ内に保存のうえご持参ください。
- スケジュールおよびスペースの関係上、PowerPoint の発表者ツール機能は使用できませんのでご注意ください。

- **原則として、発表データはUSBメモリによる持ち込みとさせていただきます。　なお発表データは当日持参してください。事前に郵送されても受付はできませんのでご注意してください。**
- USBメモリをお持ちいただく際、混乱の元となりますので、USBメモリ内には発表演題のファイルのみを保存してください。
- USBメモリは、各自にて必ずウイルスチェックを行ったうえでお持ち込みください。
- USBメモリはデータを取り込んだ後、すぐに返却いたします。
- 取り込んだデータについては、厳重に管理し、学会終了後に適切に破棄致します。

- PC 持ち込みに関して

特別な理由がある場合を除いて（動画再生に不安のある方等）は、PC 持ち込みでの発表は許可できませんのであらかじめご了承ください。やむを得ず PC を持ち込む際は、事前に学会事務局までご連絡ください。

2. 発表データの受付について

1) 発表開始の 60 分前（朝一番のセッションは 30 分前）までにデータの受付・試写をお済ませください。
2) 試写において、持参したデータおよびバックアップデータも動作せず修復できなかった場合は、スライドなしで発表していただきます。発表者の責任において仕様に合致したデータの作成をお願いします。

3. 発表について

発表は、ご自身で演台上のマウス・キーボードを操作して行ってください。その他演台には、モニターとレーザーポインターをご用意しております。
なお、スケジュールおよびスペースの関係上、発表者ツールの使用はできませんのでご注意ください。

発表時間は、1 演題につき発表 6 分、質疑 3 分、計 9 分以内です。

オンデマンド配信用に発表内容の録画録音をさせていただきますのでご了承ください。

4. 利益相反（COI）の開示について

演題発表時、筆頭発表者における COI の開示が義務付けられております。
COI の有無に関わらず、タイトルスライドの次に COI 開示のスライドを挿入してください。
スライドのデザイン自体は自由です。

5. 発表スライドについてお願い

タイトルスライドを最後にも挿入してください。オンデマンド配信用録画のために質疑応答の時間はタイトルスライドを表示していただきます。

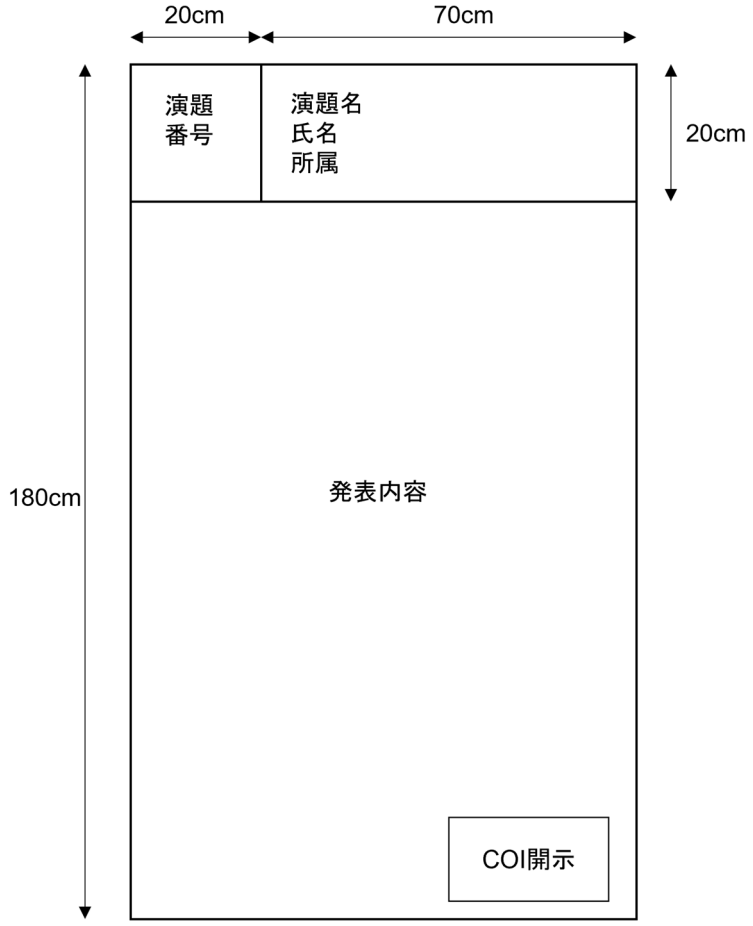
Ⅶ. 示説（ポスター）発表形式

1. 発表時間、方法

座長の進行により発表、討論を行います。1 演題につき発表 3 分、質疑応答 3 分の計 6 分間です。

2. ポスターの大きさ

縦 180cm、横 90cm です。演題番号は運営事務局で準備しますが、演題名・所属・演者名はご自身でご用意ください。押しピンなどは運営事務局にて用意いたします。



3. ポスター貼付け、討論、撤去スケジュール

	12 月 2 日（土）	12 月 3 日（日）
貼付時間	8:30～9:00	8:30～9:30
発表時間	9:00～11:00	9:30～10:30
撤去時間	17:00～18:00	11:00～12:00

会場案内

石川県立音楽堂　　〒920-0856 石川県金沢市昭和町２０-１
TEL 076-232-8111

ホテル金沢　　〒920-0849 石川県金沢市堀川新町１番１号
TEL 076-223-1111

交通アクセス

■小松空港より

空港バス……金沢駅行で約４５～６０分

■金沢駅より

●学会会場：石川県立音楽堂、ホテル金沢……東口より徒歩１分

■お車でお越しの場合

JR 金沢駅を目指してお越しください。

●福井方面からお越しの方……金沢西 IC から約１５分

●富山方面からお越しの方……金沢東 IC から約１０分

※石川県立音楽堂地下駐車場（有料：４００円／１時間)。

※ホテル金沢地下駐車場　１時間　220 円(0:00～18:00)、110 円(18:00～0:00)

近隣の駐車場

金沢駅西口時計駐車場（有料：最初３００円／１時間、以降３０分毎１００円）

金沢駅東駐車場（有料：最初３００円／１時間、以降３０分毎１００円）

令和5年度日臨技中部圏支部

医学検査学会